

平成26年度 部局長マネジメント方針

かわぐち せいじ
副市長 川口 誠司



私の決意

私は、平成23年11月に副市長に就任いたしました。それまでは、市職員として、危機管理、広報、経営企画等の分野に携わってまいりました。その経験を通じ、私は、何よりもまず市民の生命と財産を守ること、また、市民の皆さまに行政のことをよりわかりやすくお伝えし、理解と協力を得ること、この2つのことを念頭に置きながら副市長の職務に当たっております。

私が担当する部局は幅広く、また、副市長として市長のトップマネジメントを補佐し、市政全般にわたり政策を推進していく重責を担っております。各部局とも様々な課題がありますが、平成26年度に取り組む課題として、特に2点をあげます。

まず、危機管理体制の整備です。昨年度、本市の防災システムを一新いたしました。防災行政無線をデジタル化することに伴い、市内全域に緊急時の音声が届くよう「屋外スピーカー」の配備を終えました。また、防災拠点としての危機管理センターの整備や無線電話の増設など、災害時の情報収集、発信に即応できる体制を整えました。災害は、「自助」「共助」「公助」の連携により効果が発揮されます。平成26年度は、新システムを活用した防災訓練など、地域の防災力や職員の意識の一層の向上を図り、安全安心なまちづくりを進めてまいります。

次に、行財政改革のさらなる推進です。平成26年度は、5年間にわたり進めてきた「新集中改革プラン」の最終年度です。この間、外郭団体の統廃合や民間活力の活用など行財政改革を進めてきましたが、今後、新市民会館の建設をはじめとする公共施設の再編整備など、大きな事業が予定される中、将来に向けて、市民サービスを維持・向上しながら、持続的な行財政運営を可能とするためには、継続した行財政改革の取り組みが必要です。平成27年度スタート予定の「新たな行財政改革の行動計画」の策定に向け、私自身が先頭に立ち、各部局一丸となり取り組んでまいります。